



レポート用紙26枚に込められた

平和への願い

高校生の目で見た炭鉱と強制連行

高校生の発表会

— 強制連行の歴史 —

「私たちの住む地面の下に、暗い歴史が隠されていることを知って驚きました」と話すのは、八幡中央高校3年の吉田安子さん（吉田）。

7月25日、中央公民館で「筑豊炭坑と強制連行について」と題した発表会が行われました。

吉田さんは、昨年の夏休み、学校で「地域とアジアのつながりについて」というテーマでレポートを提出する宿題が出たのをきっかけに、炭鉱と強制連行について調査を開始。約3週間をかけ、文献から当時の資料や写真を収集したり、実際に炭鉱跡地などを見て回り、その調査結果をレポート用紙26枚と写真13枚にまとめました。そして、夏休みが明けて、このレポートを発表したところ、多くの級友たちの感動を呼びました。

そこで、町づくりグループ「みずまき・町を考える会」は、その成果を学校の中だけにしまいたいのは惜しいと、この発表会を企画しました。

この日は、地域の人を中心に50人が参加。吉田さんは、レポートをもとに約30分間、炭鉱と強制連行について発表しました。参加者たちは、町にあった炭鉱の説明や強制連行の歴史的背景、労働の実態など、歴史について考えさせられる内容の話しに熱心に聞き入っていました。





座談会

健康への願いを届けたい

皆さんに支えられ「こんにちは保健婦です」のコーナーが100回目を迎えました。

健康について住民の皆さんと一緒に考えていくことを目的に、昭和62年4月から始まったこのコーナーも今年で9年目。そして今月号で100回目を迎えることになりました。そこで今回は、町の健康づくり事業をテーマに、このコーナーをご愛読いただいている5人の読者と役場保健婦による座談会を企画しました。

皆さんからの意見や要望が
テーマや題材になっています

司会（広報担当職員）／まず、

「こんにちは保健婦です」のコーナーについて皆さんの感想をお聞かせください。

吹田／私は広報がくると必ず全部のページに目を通すようにしています。このコーナーも毎月読んでいます。特に、ガンの検診結果などは、自分の健康を見つめなおす意味で役立っていると思いますね。

添田 私には、4歳と1歳9か月になる二人の子供がいますが、予防接種の受け方について掲載されたときなどは、興味深く読んでいます。それと、住民の声が載っていると、身近に感じます。アッあの人の意見だ、という感じでどうしても見てしまいますね。

松田／私は、この町のことをもっと良く知りたいので、より多くの情報を掲載して欲しいと思っています。

中村／自分に関係していることに一番関心がありますね。私が参加した健康づくり教室（平成5年9月、平成6年1月）の記事が掲載されたときは、友達の写真が載っていたこともあり、おもしろく読ませていただきました。また、このコーナーだけでなくお知らせの

記事は、町の情報として大切なものだと思います。やっぱり、情報を知らないで自分の生活範囲が狭くなりますからね。

大星／現在、私は86歳になる父の介護をしているので、訪問看護や高齢者の介護のことなどを、もっと取りあげて欲しいですね。これから高齢化社会に向かうなかで、私と同じように高齢者を介護する人が増えてくると思います。その意味でも、病気になるたときの対処の仕方や介護について相談できる施設の紹介などを掲載してもらえると、大きな手助けになります。

北島／保健婦さんたちは、このコーナーの記事を書くときどのようなことに気をつけていますか。

野口／そうですね、高齢者の問題など、住民の皆さんからいただいたいろいろな意見を取り入れながら、記事を書くように心がけています。また、このコーナーを始めれば、保健婦がどのような仕事をしているのか、住民の皆さんに知ってもらいたいという気持ちが強かったですね。最近では、皆さんからいただいた意見が次のテーマになることが増えてきました。例えば、便通についての相談を受けたことがきっかけとなって、掲載した「ウンコの話」などがあります。いろいろな行事をお知らせするだけでなく、住民





吹田次敏さん
70歳・(伊佐座)
「毎年町が行っている健診を受けることが、私の健康づくりのモットーです」



野口久美子さん
44歳・健康対策課 保健婦
「たくさんの人との出会いを楽しみに保健活動を続けています」



大星洋子さん
59歳・(みずほ団地)
「主人と2人、食事に気をつけながら健康管理をしています」



松田倫子さん
53歳・(みずほ団地)
「健康教室をはじめいろいろな行事に参加し、この町をもっと良く知りたいです」

中村/健診は健康づくりに役立っていると思います。今後は、この健診に加え、希望者を対象にした骨密度の測定や大腸ガンの検診なども行って欲しいですね。
大星/私も主人と二人で、かかさず健診に行くようにしています。

吹田/私は、定年で退職してから3年間ぐらいは、体のどこにも異常がなく、健康そのものだと思っていました。ところが、ふとしたきっかけで受けた健診で尿に血が混ざっていることがわかったんです。保健婦さんの勧めで泌尿器科の検査を受けたところ、異常はないとのことでしたが、結果がでるまでは不安な毎日を通しました。それ以来、毎年健診には行くようにしています。

野口/これまで町が行った健康づくり事業をたくさん取りあげてきました。これらの事業についての感想やこれから望むことなどをお聞かせください。

健診や健康教室などは健康づくりに役立っています

の皆さんの意見を反映させていくことが大切だと考えています。
山野/町内で行われている健康をテーマにした行事など、身近な情報をわかりやすく伝えていきたいと思っています。

添田/子供がいると、気軽に病院に行くことはできないんですよ。私の家庭のように核家族の場合は祖父や祖母に子供をみてくれるように頼むわけにはいきません。そのため、子供が幼稚園に通いだすくらいの年齢になるまでは、我慢す

北島/塩分や脂肪分の取り過ぎなどが、体に良くないということはわかっていても、なぜ良くないのかなど、その仕組みについてはわからないことが多いんですよ。そのことが健康教室に参加して、よく理解することができました。
大星/健康教室などに参加しているのは、限られた人だけのようなのが少し残念ですね。実際に参加してみると楽しいし、学ぶことも多いので、もっと多くの人がこのような事業に関心を持てば良いのかなあと思います。



その結果を参考に、食事などに気をつけて健康管理をしています。

山野/ここでは、町民の健康づくりに関する事業を行う予定です。健診や健康相談など、現在行われている事業はもろろんのこと、高齢化社会に備えた様々な事業が行われます。来年度から新規事業として、独り暮らしのお年寄りを対

大星/妊娠している私の娘を見て思ったのですが、妊娠中のこととか、育児のことについて、ひとりでも悩んでいる人が町内には、たくさんいるのではないのでしょうか。そういう人たちが、気軽に相談できる場をつくって欲しいですね。

大星/妊娠している私の娘を見て思ったのですが、妊娠中のこととか、育児のことについて、ひとりでも悩んでいる人が町内には、たくさんいるのではないのでしょうか。そういう人たちが、気軽に相談できる場をつくって欲しいですね。

世代間交流を活発にする 出合いの場をつくりたい

るしかないときあらめている人が多いと思います。特に妊娠中は、歯が悪くなったりしますので、子供を一時的に預かってくれるような制度ができると、助かりますね。また、1歳6か月から3歳までのあいだは、健診などがないので、相談したいことがあってもどこに行けばいいのかわかりません。ですから、相談できる場所の紹介や育児相談などの事業を積極的に行って欲しいですね。



**添田由美子さん**

25歳・(猪熊)

「育児サークルの活動を通して仲間づくりをしています」

**北島アイ子さん**

51歳・(みずほ団地)

「ニコニコベースで歩こう会に参加して、歩くことの大切さを知りました」

**山野邦代さん**

24歳・健康対策課 保健婦

「住民の皆さんの声を大切に、仕事をしていきたいです」

**中村ケサオさん**

61歳・(みずほ団地)

「プールで泳ぐことと近所を一時間ほど散歩をすることが私の健康法です」

象にした昼食会と脳卒中などで倒れた人たちのリハビリ教室を計画しています。また、電話相談も始めようと考えています。そこでは、高齢者の介護や育児での悩み事など、健康や福祉についての相談ができるようにしたいと思っています。このほかに、育児教室を開いたり、健康や福祉を活動の中心にしているグループの支援などが計画されているんですよ。

野口/町では、平成6年2月に「仲間づくり」「健康づくり」「安心づくり」を三つの柱とした「高齢者保健福祉計画」をつくりました。この施設は、この三つの柱を推進し、保健・福祉サービスの充実を図るための拠点施設となるものです。高齢者だけでなく住民の健康づくりの場として、また0歳児から高齢者までの交流の場として皆さんに親しまれる施設にしていきたいですね。

松田/世代間の交流ができるようになれば、一つの問題に対して、それぞれの年代層から違った意見が聞けるので大変に良いことだと思っていますね。その意見によって、それぞれの年代の人だけが持っている問題というのも解決できるのではないのでしょうか。また、お年寄りの知恵や子育てを終わった主婦の知恵などが、若い世代に伝えられるような環境づくりを目指し



て欲しいと思いますね。

添田/現在、私は育児サークルの活動をしています。このサークルを始めたきっかけというのが、友達づくりだったんですよ。私が住んでいる猪熊には、子供が少ないので、友達を作る機会が少なかつたのです。そこで、遠賀保健所で行われた子育て教室に参加したときの仲間を集めてこのサークルを始めました。今は、子供もたちもすっかり打ち解けあっていますし、私たちが悩み事を話したり、雑談をしながら楽しい時間を過ごしています。これからは、仲間づくりだけでなく、子育てを卒業した人たちとの交流も深めていきたいですね。

野口/高齢化社会を担っていくのは、今から育っていく子供たちなんです。その子供たちを育てるお

母さんたちがイキイキと子育てができる環境づくりを行うことは大切なことです。そのため、育児サークルの支援をはじめ、地域で企画された健康教室などを応援していきたいと考えています。

高齢化の問題は
その実態を知ることが大切です

吹田/次に高齢化の問題について皆さんのご意見を伺いたいと思います。

吹田/高齢化について、私は若い世代に伝えたいことがたくさんあります。例えば、年をとってから初めて健康のありがたさがわかってくるということ。若いときは、健康で体力もあります。しかし、だんだん年をとってくると、体にいろいろな異常が出てくるんですよ。私も若いときは、健康のことなど気にせず、お酒を飲み過ぎたり、夜更かしをしたりしていました。若いときに体に負担をかけると、必ず年をとってから、そのときのつげが回ってきます。ですから、若い人たちにも健康づくりに目を向けて欲しいですね。

中村/希望者を募って老人ホームの見学を行ってみてはどうでしょうか。個人では、そのような施設に行く機会がありませんし、直接お年寄りたちの話が聞けたらとて





振り返ってみました。 これまでの軌跡



「昭和61年度成人病検診結果」
昭和62年4月 (NO1)
成人病検診の結果を紹介し、日ごろの定期検診の大切さを呼びかけました。

「私の健康法」
昭和62年11月 (NO8)
健康管理について12人の住民から寄稿していただきました。また、地域で行われた健康づくりへの取り組みなども紹介しました。



「こどもの健康みえますか」
平成元年4月 (NO25)
水巻町の未来を担っていく子供の健康について、検診の結果などをもとに考えました。また、子育ての基本的な知識も紹介しました。

「エイズ読本」
平成4年10月～12月 (NO67～69)
エイズをはじめ新しい病気に対する予防方法などを紹介したシリーズの一つ。このほかにも、近年増加している病気などを取りあげました。



「ひとりの老後を支えるものは」
平成5年7月～9月 (NO87～89)
高齢者の実態を紹介しながら、老後について考えたシリーズ。このほかにも、様々な角度から高齢化の問題について取り組みました。

も勉強になると思います。また、それを機会にボランティアを始めたいと思う人も出てくるのではないのでしょうか。

大星／私は、何度か特別養護老人ホーム松快苑を訪問したことがありますが、一回見ただけでは高齢者の実態は分からないと思います。二回、三回と訪問することによって、受けとめ方も変わってきますし、それだけ理解が深まります。ですから、何回も足を運ぶ必要があると思いますね。

野口／老後というのは誰もがいつかは通る道ですから、若いときに老人ホームを見ることは高齢化の問題を受けとめる意味で大切なことだと思います。また、デイサービスや入浴サービスなどがどのように行われているのか知っている

と、実際に自分がサービスを受けるときに役立ちます。そのサービスの内容について紹介することも私たちの大事な役目だと考えていますので、皆さんからの要望を受けながら、見学会などを行っていきたいと思います。

山野／高齢化社会が進むに従い、高齢者の生き方をしっかりと支援することが大切だと思います。そのため、健康な高齢者を対象にした人材バンクの活用のほか健康教室や健診などを充実させていきたいと考えています。

情報交換を盛んに行い、より充実した内容を目指します

司会／それでは、最後に保健婦さんに、今後へ向けての抱負を一言お願いします。

野口／私は「こんにちは保健婦です」のコーナーの担当者として、皆さんの健康づくりの応援ができるように、この紙面を活用していきたいと思っています。また、これまで以上に、このコーナーを通して住民の皆さんと情報のやりとりをしていきたいですね。そして、保健婦と住民の皆さんが自由に意見を発表できる場として広報を活用していきたいと思っています。

山野／電話でもお手紙でも結構ですが、このコーナーの内容について、皆さんの感想を聞かせて欲しいですね。感想や意見を参考に、より充実した紙面にしていきたいと思っていますので、よろしくお願います。そして二百回目へ向け頑張っていきます。

保健福祉会館「いきいきほーる」

11月にオープン予定

いきいき生活
応援します。

今年11月にオープン予定の保健福祉会館「いきいきほーる」。この施設は、0歳児から高齢者までの住民の皆さん誰もが気軽に利用できます。市民の健康管理・維持・増進のための施設として、健診や予防接種、健康相談などを行う予定です。また、保健・栄養指導室やリハビリなどができる機能回復訓練室も設置されることになっています。

さらに、地域福祉や在宅福祉を支えるボランティア活動の拠点として、福祉活動などの支援を行う予定です。



暑さを吹き飛ばす元気なかけ声

町内での夏祭り

7月16日、猪熊で恒例の夏祭りが行われました。このお祭りでは、高さが4メートルほどもある大きな2台の山車が登場。総勢300人が、北回り、南回りの二組に別れ、猪熊地区を練り歩きました。照りつける日ざしの中、沿道の人からかけられる気合い水に、山車を引く子供たちは大喜びしていました。

また、7月23日には、高松団地でも地域の安全を願う夏越祭が行われました。この祭には、地区の婦人会や子供会などから約150人が参加。2基の神輿とともに、にぎやかに団地の中を駆け抜けました。※高松団地夏越祭の写真は入江雅人さん(高松団地)の撮影。



「おいしい味噌を作るには、まず良い麹と巡り合うことが大切です」と話すのは、講師の椎島千枝子さん。

7月6日、水巻吉田保育園(吉田三)で「味噌づくり教室」が開かれました。この教室は、無添加の味噌を作ろうと、水巻吉田保育園の保母さんたちが中心になって企画したものです。この日は、地域の主婦など45人が参加し、味噌づくりを学びました。

「田舎の祖母が作ってくれた味噌汁と同じような味がします。とてもおいしいですね」と、無添加の味噌汁を試食した竹田るみ子さん(梅ノ木団地)。

創業120年という老舗の種麹本舗椎島商店(瀬高町)で麹づくりに取り組んできた椎島さんの話しに、参加者たちは興味深く聞き入っていました。

良い麹と出会うことが味噌づくりの基本です

水巻吉田保育園で無添加の味噌づくり



壁いっぱいのコスモス

こすもすハウス共同作業所の壁画が完成

7月25日、こすもすハウス共同作業所(緑風園)に美しい壁画が完成しました。この施設は、共同作業を通して障害者が自立するために必要な技術を学ぶことを目的に4月から運営を始めています。現在は、障害者とその家族が手作りのプリン石けんづくりに取り組んでいます。

この日は、水巻中学校の美術部の生徒15人も協力にかけつけ、施設の人たちと一緒に壁いっぱいに色鮮やかなコスモスの絵を描きました。

「絵を描くのが好きだから参加しました」と話してくれたのは松下亜紀さん(水巻中2年)。コスモスが一年中咲く作業所では、みんなの元気な声が聞こえてきそうです。



まちのわだい

ホットな情報を
お待ちしております

宝くじからの贈り物



平成7年度宝くじ助成事業として伊左座地区に宮太鼓一式とお祭り用の放送器材が贈られました。



高校総体に出場

前平美紗恵さん(二西・遠賀高校3年)が8月4日から島根県で開催された高校総体の簿記「女子シングルスカル」の部に出場しました。

元気な赤ちゃん



篠田 賢一くん
6年8月3日生まれ(梅ノ木団地)
8月から保育園に行きます。
元気でたくましい子に育ってね。



内野 一樹くん
6年8月5日生まれ(二西)
こんなに大きくなりました。姉の子供加奈ちゃんと元気で明るい子になってね。



泉原 加奈ちゃん
6年8月5日生まれ(梅ノ木団地)
こんなに大きくなりました。姉の子供一樹ちゃんと元気で優しい子になってね。



久岡 愛実ちゃん
6年8月7日生まれ(古賀団地)
だれからも愛される素直な女の子になってね。

9月10日号のこのコーナーは定員になりましたので締め切らせていただきました。(広報広聴係)



静かな会場に、パチパチというそろばんの音が響きます。7月8日、南部公民館で小・中学生を対象とした第37回青少年珠算競技大会が開かれました。今年、この大会に参加したのは、小学生49人、中学生5人の合わせて54人。競技の結果は次のとおりです。

【個人の部】

●4年生以下(金賞)入江小実・横田美佳・谷口真由美・桜田麻衣 ●5年生①永安喬子②藤山梓③若松香織 ●6年生①古田亜弓②鶴村香苗③岩佐太介 ●中学生①若松真由美②鶴村美幸③野間智弘

【読上算の部】

●小学生①吉田望②岩佐太介③武尾美樹 ●中学生①鶴村美幸②若松真由美③松田順子

【読上暗算の部】

●小学生①松岡見司②吉田望③岩佐太介 ●中学生①鶴村美幸②野間智弘③若松真由美

コンピューターも顔負け

青少年珠算競技大会

▼7/16 盆踊り講習会



▲7/5 太鼓講習会

本番が楽しみです

太鼓講習会・盆踊り講習会

中央公民館で太鼓と盆踊りの講習会が行われました。この2つの講習会は、8月に各地区で行われる盆踊り大会の練習のために開かれているものです。

7月5日に行われた太鼓講習会には36人が参加。始めのうちは、慣れない太鼓に苦勞していた参加者も、2時間の練習でパチさばきも軽やかになり、威勢のいい音を響かせていました。

一方、約220人が集まった7月19日の盆踊り講習会には、夏を感じさせる浴衣姿の人も参加し、雰囲気盛り上げていました。

盆踊りの本番には、この2つの講習会での成果が各地区で見られることになりそうです。

景観事業は、まちづくり

町営住宅における景観改善事業の目的と手法

今月は町営住宅で現在実施している景観改善事業とその目的・方針などを紹介します。

この事業は、町のイメージアップと団地の住環境整備をめざし、平成3年度に高松団地と吉田団地からスタートしました。

老朽化した町営住宅は、暗いイメージを与えます。

水巻町の二割を占める町営住宅は、町のイメージや居住環境へ大きな影響を与えています。特に高松団地や鯉口団地などは5階建て住宅が立ち並び、付近の県営・公団団地などと共に水巻町が住宅都市であることを象徴しています。しかし、昭和49年度から建設されたこれらの団地も老朽化が目立ちはじめ、逆に重苦しい雰囲気さえ感じられるようになってきました。

そこで、平成3年度から高松団地と吉田団地の5階建て住宅に景観改善事業を実施することとしました。この事業は、老朽化した外壁や屋根を改善するばかりでなく、

色彩計画や駐車場の設置を盛り込むことにより、生活の利便と安全調いのある環境を創りだすことを目的としています。

住宅には今、質の向上が求められています。

量から質へと転換していく時代の流れは、住宅や生活環境へも質的な向上を求めています。全国的にも住宅戸数は満たされつつあり、戸数だけを求めた住宅の建設は転換期を迎えています。(表1)

現在の住宅は、何より、安全・便利で快適であることと、魅力的な住環境であることが求められています。これは、一戸建て住宅だけに限られたことではありません。空家公募の応募者の減少など、

町営住宅へも波及してきています。建設省も、この現象を意識して団地の景観や環境の改善に補助金を出す制度を充実させており、水巻町もその適用を受けて事業を進めています。

景観改善事業は、とても経済的な事業です。

景観改善事業は、もう一つの側面として、維持管理費の削減を目的としています。町営住宅に限らず、すべての建築物は老朽化によって様々な問題が発生してきます。例えば外部が老朽化すれば、雨が漏ったり、白アリが発生したりします。

このような将来の問題に備え、サビなどに強い材料で屋根をふいたり、雨水が浸透しにくい塗料を利用して外壁の品質を向上させたりすると、その後の修繕代や維持管理費用は少なくて済みます。

建築時にはそれだけ余分に費用がかかっていますが、先程ふれたとおり、景観改善事業は国庫補助金の適用を受けることができ、町の負担はかなり軽減されます。

そのため、高額になっても品質の高い施工方法を採用することにより、以後の修繕費用などの維持管理費は極端に削減することができます。

これらのことから、景観改善事業はその制度を有効に運用することで、町営住宅の維持管理経費の削減に役立つ経済的にも有効な事業であるといえます。

高松団地は平成10年度まで。その後は鯉口団地へ

景観改善事業は、平成3年度に高松団地と吉田団地の5階建て住宅から始まり、現在高松団地が16棟、吉田団地が6棟、計22棟の住棟改善とそれぞれ二百十三台、百六十八台の駐車場整備が完了しています。吉田団地はこれで完了となりますが、高松団地は平成10年度まで継続して事業を行っていきます。また、その後は引き続き鯉口団地の景観改善事業(平成10、12年度)を実施する予定です。

そのほか、猪熊町営住宅や吉田団地の2階建て住宅などについては、今後の町営住宅運営をしっかりと検討したうえで、用途廃止や

建て替えなどの方法で住環境の改善を計画していきたいと考えています。

町内各地に次第に広がる快適な住環境

町営住宅の景観改善事業とはは並行して公団梅ノ木団地の外壁改善事業が実施され、町の景観整備も北部地区を中心に徐々に広がりをもちはじめられています。平成3年度に完成した町営二団地や町内各地に現在建設されている団地・住宅街は、すでにこれらの快適な住環境を意識した「建物づくり」、「環境づくり」がなされています。

住宅課では、今後も「明るく、健康的な、うるおいのある町」をめざした住宅都市づくりを、町営住宅の景観改善という部分からも推進していきたいと思っております。

■福岡県における住宅数数の推移

年度	(単位) 世帯数	福岡県	
		実数	指数
昭和38年	人口	3,970,000	100
	普通世帯	860,300	100
	空家	856,000	100
昭和48年	人口	4,156,000	105
	普通世帯	1,120,500	130
	空家	1,197,200	140
昭和58年	人口	4,670,000	118
	普通世帯	1,400,000	163
	空家	1,545,300	181
昭和63年	人口	4,771,000	120
	普通世帯	1,494,700	174
	空家	1,683,500	197
平成5年	人口	4,882,000	123
	普通世帯	1,646,100	191
	空家	1,838,600	214

▷住宅数には空家の戸数を含みます。
▷指数は昭和38年を100とした場合の倍率
※人口は住宅統計調査(各年10月1日統計局推計)による。

ご存じです 課

「役場でどんなことをするのか？」に答えます

4月から役場の機構が変わりました。そこで、それぞれの課がどのような仕事を行っているのか、ご紹介していきます。



住宅課

水巻町には、2053戸の町営住宅があり、約5000人が暮らしています。今月は、この町営住宅の管理や整備を行いながら快適な住環境の提供に努めている住宅課をご紹介します。

町内全世帯のうち約2割の世帯が住んでいる町営住宅は、国の協力を受けて町が建設した町民全体の大切な財産です。この町営住宅の仕事をを行う住宅課には管理係と住宅整備係の2つの係があります。庁舎2階北側で職員9人で業務を行っています。

管理係 ● ● ● ● ●

町営住宅の施設全体の管理と家賃の徴収が主な仕事です。また、町営住宅に住む人の入退去、移転に関する事務や駐車場に関する事務を行っています。そのほかの仕事は次のとおりです。

- 住宅政策に関する事務、町営住宅の財産の管理、敷金・使用料の徴収、町営住宅の台帳整理。

住宅整備係 ● ● ● ● ●

入居者が快適な暮らしをおくるための施設の整備が主な仕事です。また、管理をしていくうえで必要な修理や改善を行っています。現在では、町営住宅の住環境をより良くするために景観改善事業を進めるほか、建替計画の立案など、将来へ向けた豊かな町営住宅づくりを検討しています。そのほかの仕事は次のとおりです。

- 町営住宅の建設に関する事務、工事にともなった損失補償に関する事務など。

頑張っています!

町内で働く若い人を紹介するコーナーです

職場訪問 ⑤

プロフィール

高橋京子さん（八幡西区）、昭和44年11月19日生まれ、25歳、血液型A型、水巻梅ノ木郵便局勤務。



郵便局に勤めることが小学生のころからの夢でした。

水巻梅ノ木郵便局は主に、郵便、為替貯金、保険年金の3つの事業を行っています。採用されて5年目になりますが、郵便局に勤めようと思ったのは、小さいころからの夢だったからなんですよ。母から聞いた話では、小学生ぐらいのときから郵便局で働きたいと言っていたそうです。

担当は、窓口業務です。気持ち良く郵便局を利用してもらいたいで、笑顔で機敏な対応を心がけています。それに、制度の改正などをわかりやすくお客様に説明できるように、近隣の郵便局の職員と一緒に勉強会をしています。そこで学んだことを生かし、お客様に喜んでもらえるようなアドバイスができたときが一番うれしいですね。そんな窓口でのふれあいがこの仕事の魅力だと思います。

趣味は、旅行です。昨年行ったオーストラリアの海の青さに感動して、スキューバダイビングを始めたいと思うようになりました。

将来の夢は、優しく理解のある人と温かい家庭を作ること。でも、仕事は続けたいですね。そして、お客様から信頼されるような郵便局員を目指して頑張っています。

水巻梅ノ木郵便局 職員数は6人。利用区域内世帯数は約5000世帯

●ピノキオ文庫

サークル紹介
CIRCLE

素敵な仲間たち



多くの子供たちに
本の世界の素晴らしさを
教えてあげたいですね。

ピノキオ文庫は、子供たちに本の世界の素晴らしさを伝えたいという願いを持ったお母さんたちが集まり、昭和57年に発足しました。現在、13人の会員が幼児や小学生たちに、本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアターなど、様々な方法で本の楽しさを紹介する活動を行っています。

「子供たちにたくさんの本を読んでも聞かせ、その楽しさを知ってもらいたいですね。また、本を通して親と子の心のきずなをつくりあげていきたいと考えています」と話してくれた会員の皆さん。今後、この会では現在の活動内容に加え、情報交換を中心とした勉強会なども行われる予定です。

子供たちの未来のため、また自分自身の生涯学習にぜひあなたも入会してみませんか。

●学習日 第二土曜日 午後2時～4時
●連絡先 中央公民館児童室

●この二つのコーナーに出てくれる人・会社・サークルを募集しています。自薦、他薦は問いません。ふるってご応募ください。 ●問い合わせ・役場広報応募係まで

スポーツの結果

がんばった人に

マル



地域婦人バレーボール大会

7月9日、地域婦人バレーボール大会が町民体育館で行われ、町内各地域から5チーム総勢54人が参加し、熱戦が繰り広げられました。試合の結果は、次のとおりです。

- 優勝 猪熊ママ
- 準優勝 水巻南

スポーツ少年団水泳競技大会

スポーツ少年団水泳競技大会が7月9日、町民プールで開催されました。成績は、次のとおりです。

- ▽自由形五十メートル
 - 〔女子〕①今村知世②藤本祐子
 - 〔男子〕①一瀬新二郎②鬼塚拓也
- ▽平泳ぎ五十メートル
 - 〔女子〕①入江和美②西沢恵美
 - 〔男子〕①後田洋佑②宮腰晃晃
- ▽リレー二百メートル
 - 〔女子〕①猪熊水泳A②頃末水泳A
 - 〔男子〕①頃末水泳A②猪熊水泳A

福岡県ターゲットバードゴルフ大会

7月16日、遠賀川河川敷猪熊公園でターゲットバードゴルフ福岡県大会が行われました。9月に行われる全国大会の代表選手の選考会を兼ねるこの大会には、50人が参加。いつも以上の奮闘ぶりを見せていました。大会の結果は次のとおりです。

- 〔団体の部〕優勝 岩崎司・紙綿詩朗・山下勝利・堤野久男
- 〔個人の部〕①野々上隆昌②岩崎司③成清敬

郡民体育大会（水泳）

7月2日に遠賀郡民大会（水泳）が町民プールで開かれました。水巻町は、小学生男子三百メートルリレーで頃末水泳Aが優勝したほか、9つの種目で優勝を収めました。

- 水巻町からの県大会出場者
- 土井愛子・入江和美・中崎晴奈・荒川一徳・後田洋佑・一瀬新二郎・大貝由美香・花本剛・植本実・山本通泰

郡民体育大会

7月16日に遠賀郡民大会が、遠賀コミュニティセンター（遠賀町）など郡内12会場で開催されました。水巻町は、陸上6種目のほか、バレーボール・軟式テニス・卓球・ソフトボールで優勝を収めました。また、各試合にさきがけ、平成7年度遠賀郡体育功労者の表彰が行われました。表彰者は次のとおりです。

- 村田満雄・中野二郎・国武忠義・滝口泉・入江弘・後藤吉男・山本睦男・濱野政昭



I LOVE 国保

退職者医療制度

対象となる人

- 次の条件のすべてにあてはまる人とその被扶養者
- ▷国民健康保険に加入している。
- ▷老人保健法の適用を受けていない。
- ▷被用者年金の加入期間が20年以上の人または、40歳以後の加入期間が10年以上ある人。

被扶養者とは

- 退職被保険者本人と同居し、退職被保険者の収入によって生計を維持している次の家族
- ①直系尊属、配偶者、3親等内の親族、配偶者の父母と子
- ②国民健康保険の加入者で、老人保健法の適用を受けていない人



退職被保険者となる日

年金の受給権が発生した日が、退職被保険者になる日です。受給権が発生し、年金保険者に裁定（決定）請求をすると、本人に年金証書が送られてきます。証書を受け取ったら、14日以内に役場保険医療係へ届け出てください。

退職者医療制度による給付

退職被保険者（本人）

外来	2割自己負担	8割給付
	入院	2割自己負担

被扶養者（家族）

外来	3割自己負担	7割給付
	入院	2割自己負担

●問い合わせは、役場保険医療係まで

知っていますか。

消費者の利益を守る クーリング・オフ制度

クーリング・オフ制度

「クーリング・オフ制度」とは、訪問販売などで、一定期間内であれば、消費者側から契約を取り消すことができるという制度です。例えば、いったん商品を買う契約をしたあと、よく考えてみたら自分には不要だ、と思ったような場合この制度が適用されます。

また、クーリング・オフ制度が適用できる取り引き内容や期間、対象商品、サービスは法律で定められています。

クーリング・オフができる条件

次の3つの条件すべてに当てはまればクーリング・オフできます。

① 契約した場所が店舗や営業所以外のとき。(目的を告げられず電話などで営業所へ呼び出されたり、路上で呼び止められた場合も対象になります)

② 申し込みや契約した日を含めて8日以内のとき。(契約書を受け取っていないかったり、契約書にクーリング・オフの告知がなければ、8日を過ぎて

も可能です)

③ 訪問販売法で指定された商品、役務、権利のとき。(53品目の商品、14種類のサービス、2種類の権利が指定されています)

● 次の場合は条件を満たしていてもクーリング・オフできません。

▽ 現金取引で、総額が三万円未満の場合

▽ 自分の方から業者を自宅に呼んだ場合

▽ 消耗品(健康食品、化粧品など)を使用または消費した場合

クーリング・オフは書面で

クーリング・オフは、電話や口頭などで申し出ると証拠が残らず、あとでトラブルの原因になりますので官製はがきを利用して、簡易書留で送付するようにしましょう。

また、クレジット契約している場合は、クレジット会社にも送付することを心がけてください。

通知を出せば支払ったお金は返金され、受け取った商品は業

書き方例(ハガキの場合)

● 問い合わせ 福岡県消費生活センター ☎(092) 632 局0999番へ

表

〒000000 市〇〇区〇〇町
〇〇丁目〇番〇号

〇〇株式会社
代表取締役 殿

裏

契約解除通知書

契約年月日 平成〇〇年〇月〇日
契約者名 〇〇〇〇
住所 〇〇〇〇
〒〇〇〇〇

この契約は、解除します。なお、支払済の〇〇〇〇を返金し、商品引き取戻したいです。

平成〇〇年〇月〇日
契約者住所 氏名
代表取締役 殿
株式会社 代表取締役 殿

保険料を納めるのが困難なときは、免除制度があります。

経済的な理由などから、どうしても保険料が納められないときは、申請をすると一定の基準により保険料が免除されることがあります。手続きは、役場国民年金係で行ってください。

● 必要なもの 印鑑、年金手帳、学生の場合は学生証

※ 免除を受けた期間は年金の受給資格期間として計算されますが、その期間の年金額は3分の1になります。また、その期間の保険料は、10年前までさかのぼって納められます(追納)。追納すると将来の年金額は通常に戻ります。

安心、便利な口座振替をご利用ください。

手続き・問い合わせ
役場国民年金係へ

国民年金アラカルト

保険料は忘れずに納めましょう。

国民年金から将来(65歳)満額の年金を受けるには、20歳から60歳までの40年間、保険料を納めなくてはなりません。未納のままにしておくとも老齢基礎年金だけでなく、もしものときの障害・遺族基礎年金も受けられなくなる場合もありますので、ご注意ください。



くらしの情報

Living Information

お問い合わせは

水巻町役場	201-4321
中央公民館	201-0401
南部公民館	202-2472
総合運動公園内	
(スポーツ鑑賞係)	201-4000
(テニスコート)	201-5757
町民体育館	201-3936
えぶり山荘	202-6230
福祉センター	201-0794
社会福祉協議会	202-3700

お盆休みも開院します
当番制の歯科医院

遠賀歯科医師会



遠賀歯科医師会では、8月13日(日)から15日(火)までのお盆休みの休日急患診療を当番医制で行います。

●当番医院

- ▽13日(日) 日高歯科医院(中開市) ☎2445局3915番
 - ▽14日(月) 松尾歯科医院(遠賀町) ☎293局3355番
 - ▽15日(火) 藤井歯科医院(中開市) ☎244局7155番
- 診療時間 午前10時～午後5時

※診療を受ける人は、前もって当番医院にお問い合わせをしてください。

お盆は、休みです。
し尿・ゴミの収集

生活環境課環境衛生係

8月14日(月)・15日(火)のし尿とゴミの収集は休みです。盆休み中は、ゴミを出さないでください。収集をいたしませんので付近の人に迷惑がかかります。ご協力ください。

※岡垣清掃センターへの自己搬入と犬猫の死体の搬入は、8月14日・15日は、受け付けを行いません。

●問い合わせ 役場生活環境課環境衛生係

障害者の書道・写真全国コンテストの作品を募集

助福岡県身体障害者福祉協会

●応募資格 「身体障害者手帳」の交付を受けている人※過去3回以上このコンテストに入賞し

た人は対象となりません。

●作品 ①書道の部/半紙サイズ(1人1枚) ②写真の部/4つ切り(1人1枚)

●応募方法 応募用紙に必要事項を記入し、助福岡県身体障害者福祉協会(〒810福岡市中央区六本松1-2-22)へ送ってください。※応募用紙は役場健康対策課ふれあい係に用意してあります。

●作品の表彰 書道・写真作品から金賞各10点、銀賞各10点、銅賞各20点

●応募締切り 9月20日(水)

●問い合わせ 助福岡県身体障害者福祉協会 ☎(092) 751局3239番へ

障害を持つ人へ向けた作文とポスターを募集します

健康対策課ふれあい係

県では、障害者に対する理解と認識を深めることを目的として、日ごろの体験や意見を作文にした「届けたい心のメッセージ」と、12

巨大砂像

現る



芦屋町では、芦屋海水浴場に砂像を11基制作し、「砂浜の美術展」を開催します。また、8月27日に「砂の彫刻コンテスト」をはじめ、たくさんの楽しいイベントを用意していますので、ふるってご参加ください。

- とき 8月24日(木)～31日(木)
- ところ 芦屋海水浴場(芦屋町)
- 問い合わせ 芦屋町産業観光課 ☎223-0881
- ※「砂の彫刻コンテスト」では、参加者を募集しています。8月21日までに申し込んでください。
- 申し込み・問い合わせ 芦屋町観光協会 ☎221-1001

月9日の「障害者の日」にちなんで「障害者問題啓発ポスター」を募集します。

「届けたい心のメッセージ」

▽募集テーマ ①出会い、ふれあい、心の輪②うれしかったこと、悲しかったこと③私の好きな日

▽応募資格 小学生以上の障害者とその家族、障害者問題に関心のある人

▽字数 四百字詰め原稿用紙5枚以内(小・中学生は2～4枚) ※冒頭にテーマを書いてください。

「障害者問題啓発ポスター」

▽募集テーマ 12月9日の「障害者の日」を広くお知らせする内容のポスター

▽応募資格 小・中学生

▽規格 画用紙B3版

●募集期限 9月8日(金)

●申し込み 県民生部障害福祉課(〒812-7福岡市博多区東公園7-17) ※申込用紙は役場ふれあい係に用意しています。

●問い合わせ 役場健康対策課ふれあい係

ボタ山に入らないでください
イノシシ狩りを行います

産業課農政係

中間市内の農家にイノシシが出没し、野菜などに被害がでました。今後も被害が広がるおそれがあるため、遠賀猟友会が銃器やわなによる捕獲を行っています。

捕獲をしている地域は、中間市に隣接する吉田のボタ山付近です。猟友会では、安全の確保に十分な注意をしていますが危険防止のため9月15日(金)までは、ボタ山付近には近づかないようにしてください。

●問い合わせ 役場産業課農政係



危険物取り扱いのための講習会を開きます

遠賀郡消防本部

ガソリンや灯油など、危険物を取り扱う作業に従事している人を対象とした講習会を行います。

●対象 危険物施設で危険物の取り扱い作業に従事し、免状の交付または受講してから3年経過している人

●とき 9月18日(月)～25日(月) ※土・日曜日を除きます。

●ところ 北九州市民防災センター1別館(北九州市小倉北区東港1-2-15)

●受付期間 8月28日(月)、29日(火) 午前10時～午後4時 ※正午から午後1時までを除きます。

●受付場所 北九州市庁舎3階大集会室(北九州市小倉北区内

1-1)

●問い合わせ 遠賀郡消防本部予防係 ☎293局8125番へ

受けてみませんか 県職員初級採用試験

県人事委員会事務局任用課

●採用職種と予定数

一般事務/30人・学校事務/10人・警察事務/9人・土木/11人・建築/1人・農業土木/1人・林業/1人

●受験資格 昭和47年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた人 ※大学の在学期間が2年を超える人は除きます。

●一次試験 9月24日(日)

●試験地 北九州市、福岡市ほか

●受付期間 8月21日(月)～9月1日(金)

●申し込み・問い合わせ 県人事委員会事務局任用課 ☎(092)

641局3883番へ

あなたの自慢の家で挑戦してみませんか

県建築都市部住宅課



県では、建築住宅文化賞の表彰の対象となる建築物と家並みを募集しています。

●応募方法 自薦(応募用紙)と他薦(ハガキによる推薦)

●受付期限 8月31日(木)

●部門 ①「戸建住宅部門」②

「一般建築部門」③「集合住宅部門」④「まちなみ部門」

●表彰 各部門ごとに大賞、優秀賞、奨励賞の3つの賞があります。

●申し込み・問い合わせ 役場住宅課または県建築都市部住宅課 ☎(092) 651局1111番へ

終戦当時の引揚者の皆さんの通貨・証券を返還します

門司税関

門司税関では、終戦後、外地から引き揚げてきた人が上陸地の税関・海運局に預けた通貨・証券などをお返ししています。お心当たりのある人は、返還の申し出を行ってください。また、本人だけでなく家族からの申し出も受け付けます。

●問い合わせ 門司港湾合同庁舎

内門司税関監視部(北九州市門司区西海岸1-3-10) ☎332局8346番へ

平和の尊さ伝えます 「福岡県戦時資料展」

県総務部県政情報課

8月15日は50回目の終戦記念日です。県では、「福岡県戦時資料展」として、県民の皆さんから贈られた戦時中の生活を伝える資料の展示と当時の様子をあらわしたビデオの上映を行います。入場は無料です。ぜひ、ご覧ください。

●とき 8月15日(火)～20日(日) 午前9時～午後8時(8月20日は午後5時まで)

●ところ アクロス福岡(福岡市中央区天神1-1-1)

●問い合わせ 県総務部県政情報課 ☎(092) 622局0804番へ

聞いてみませんか

「九歴講座」講演会

参加者募集



- とき 9月26日(火) 午後1時30分～午後3時30分
- ところ 九州歴史資料館(〒818-01太宰府市石坂4-7-1)
- テーマ 「古代テクノポリス鳥栖—青銅器生産を中心に」/講師 藤瀬禎博さん(鳥栖市教育委員会)
- 申込方法 ハガキで9月20日(水)までに申し込んでください。
- 申し込み・問い合わせ 九州歴史資料館 ☎(092) 923-0404

宝くじは、家族の絆を熱くします。



サマージャンポ
1億3千万円

95市町村振興宝くじ

- 1等前後賞合わせて1億3千万×200本
- 予約期限 8月20日(日)
- 引換期間 8月21日(月)～9月6日(水)
- 抽選日 9月20日(水)
- ※収益金は、市町村の明るく、住みよい町づくりに使われます。

勤労者全日本ドッジボール大会

参加者募集

- 「水郷のまち・柳川」で心身のリフレッシュと年代を越えた相互交流を図りながら、ドッジボールを楽しみませんか。
- 日程 11月25日(土)・26日(日)
- ※25日は交流会を行います。必ず参加してください。
- チーム編成 男女混合で、3人以上の女性選手と1人以上の40歳以上の選手が常時出場してください。
- 参加料 無料
- 申込締切 9月20日(水)
- 問い合わせ 柳川市経済部商工観光課 ☎(0944) 73-8111

学び心満たしませんか
福岡教育大学公開講座



参加者募集

福岡教育大学では南極大陸での実体験に基づいた様々な研究・観測活動について講義を行う公開講座「南極の科学」を開きます。皆さんの参加をお待ちしています。

- とき 8月24日(木)・25日(金)
- ところ 福岡教育大学自然科学教棟(宗像市赤間792-1)
- 対象 高校生以上の人
- 受講料 5700円
- 募集期限 8月18日(金)
- 申し込み・問い合わせ
福岡教育大学教務課教務係
☎(0940) 35-1233

福岡県青少年科学館 特別展

**なるほど
生き物探検館**



- とき 9月3日まで 午前9時30分～午後4時30分
- ところ 福岡県青少年科学館(久留米市東楯原町1713)
- 内容 カブトムシの林、3Dシアターなど
- 料金 一般400円
児童生徒200円
- 問い合わせ 福岡県青少年科学館 ☎(0942)37-5566

**交通事故のご相談は
お気軽にどうぞ**

社団法人日本損害保険協会
小倉自動車保険
請求相談センター
北九州市小倉北区紺屋町9-1
明治生命小倉ビル5階
▷相談は無料です。
▷電話での相談も受け付けています。
☎521-2140

毎年、1月15日に行われる「NHK青春メッセージ」の九州地区コンクールの出場者を募集します。

- とき 11月19日(日)
- ところ NHK福岡放送局
- 応募資格 昭和45年1月16日から昭和55年4月1日までに生まれた人
- 内容 テーマは自由です。自分の体験や考えをもとにしたメッセージを4分30秒以内で発表し終わるようにまとめ、原稿用紙か、カセットテープに録音して送ってください。(原稿・テープは返却しません)



熱いメッセージを伝えませんか
「青春メッセージ」出場者募集
NHK福岡放送局

あなたを応援する電話「フレフレテレフォン」
助21世紀職業財団

助21世紀職業財団では、労働者の就業支援事業として、育児・介護・家事などについての情報を電話で提供する「フレフレテレフォン」を行っています。

- 申し込み・問い合わせ NHK福岡放送局(〒810福岡市中央区六本松1-1-10) ☎(092)724局2843番へ

男女雇用機会均等法が施行されて今年で10年目を迎えます。そこで県では、11月2日から7日まで「ワーキング・ウーマン・ウィーク」とし、「グループ企画イベントINワーキング・ウーマン・ウィーク」を実施します。皆さんもグループでイベントを企画・運営してみませんか。

- とき 11月3日(金)～6日(月)
- ところ 天神イムズ内イリス

応募方法 応募作品には、住所、氏名、生年月日、職業(学校名・学年・会社名)、電話番号を必ず記入してください。※作品は、未発表のものに限ります。

- 応募締切り 10月2日(月)
- 表彰 入賞者には、賞状と記念品が贈られます。

ワーキング・ウーマン・ウィークに参加してみませんか
県労働部労働福祉課

県労働部労働福祉課では、男女雇用機会均等法が施行されて今年で10年目を迎えます。そこで県では、11月2日から7日まで「ワーキング・ウーマン・ウィーク」とし、「グループ企画イベントINワーキング・ウーマン・ウィーク」を実施します。皆さんもグループでイベントを企画・運営してみませんか。

- 申し込み・問い合わせ 県労働部労働福祉課女性労働係(〒812福岡市博多区東公園7-7) ☎(092)651局1111番へ



(福岡市中央区天神)ほか

- テーマ 女性と仕事
- 募集内容 講演会・シンポジウム・ビデオ上映など、テーマに沿ったイベントの企画
- 運営・実施はグループで自主的に行ってください。イベント実施費用、会場の提供、広報活動情報の提供は県が援助します。
- 応募締切り 8月21日(月)
- 申し込み・問い合わせ 県労働部労働福祉課女性労働係(〒812福岡市博多区東公園7-7) ☎(092)651局1111番へ

- 愛のおくりもの
ありがとうございました
- 町社会福祉協議会
次の方々から社会福祉協議会にご寄付いただきました。
- 美吉野 故・田口八州雄様 田口キミヨ様
 - 頃末 故・神田イサヲ様 神田 利行様
 - 吉田一 故・宮崎ミサエ様 宮崎 忠彦様
 - 古賀 故・峯浦マチ子様 峯浦 太一様
 - 二東 故・本野ナツノ様 本野 勇 様
 - おかの台 故・山田 義則様 山田 義元様
 - 吉田一 故・松嶋 義徳様 松嶋 英機様
 - 伊左座 故・久我 正次様 久我 慶子様
 - 伊左座 故・植木 政幸様 植木 リク様

あなたの声をお寄せください

町では、8月から皆さんの意見・要望を町づくりに反映するため意見箱を設置しました。



●意見箱の設置場所は、

- ▷役場ロビー
- ▷中央公民館ロビー
- ▷南部公民館ロビー

の3か所です。

意見箱を
設置しました。

町づくりの主役は、私たち一人ひとりと。この意見箱は、皆さんからの「声」を集めて町づくりに役立てようとするものです。町政に対しての意見・要望・質問などをお待ちしています。

なお、回答の必要な人は、住所・氏名・電話番号をお書きください。この回答の一部は広報紙で紹介するほか、電話や手紙で行う場合もあります。また、回答というかたちを取らずに、今後の町づくりの参考にさせていただくことにとまる場合もありますので、ご了承ください。

ただし、個人のプライバシーや利害関係に係わるものにはお答えいたしません。

●問い合わせ 役場企画課広報広聴係 ☎201-4321

町は、今 あなたの力を 求めている。

水巻町職員募集

●採用職種と採用予定数

一般事務職A / 1人程度・一般事務職B / 4人程度
土木技術職 / 1人・保健婦A / 1人・保健婦B / 1人
用務員 / 1人

●受験資格

- 一般事務職A 昭和32年4月2日から昭和39年4月1日までに生まれ、事務職種経験12年以上で管理監督的立場にあった人
- 一般事務職B 昭和40年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた人
- 土木技術職 昭和40年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれ、高等学校以上の土木課程を終了した人(卒業見込み可)
- 保健婦A 昭和32年4月2日から昭和39年4月1日までに生まれ、保健婦の免許を持っている人
- 保健婦B 昭和40年4月2日から昭和49年4月1日ま

で生まれ、保健婦の免許を持っている人または取得見込みの人

○用務員 昭和35年4月2日から昭和46年4月1日までに生まれた人

○次のいずれかに該当する人は受験できません。

※地方公務員法第16条の欠格条項に該当する人

※日本国籍のない人(一般事務職A・Bの受験者に限り
ます)

●受付期間 7月11日(火)～8月18日(金)

郵送の場合は、8月14日(月)の消印まで受け付けます。

●試験日(一次試験) 9月17日(日)

午前9時から受付開始

●試験会場 岡垣中学校(岡垣町野間697-3)

●受験手続き 申込用紙は、水巻町役場総務課人事係に用意しています。必要事項を記入して提出してください。

●問い合わせ 水巻町役場総務課人事係 ☎201-4321



読者は、心豊かな感性に富んだ子供を育てるために欠かせないもののひとつです。そこで、今回から良本と出会った子供たちの感想文をご紹介します。
第一回目は、三好綾さん（猪熊小学校6年）の「ひまわり川の大クジラ」です。



BOOK INFORMATION 「私の読んだ本」①

「ひまわり川の大クジラ」を読んで
著●柴野民三
猪熊小学校6年 三好 綾

この本は、主人公のはつかネズミのおじさんがひまわり川に釣りに出かけたとき、大きなクジラを釣ったことから話がはじまります。はつかネズミのおじさんは、釣りあげたクジラをみんなで食べようと、クマやキツネたちを家に招きました。お客さんたちは、「クジラのごちそう」を楽しみにやってきました。ところが、お客さんたちは、このクジラのごちそうを見ると、怒ったり、笑ったりして帰ってしまったのです。はつかネズミのおじさんは、不思議な気持ちでみんなを見送りました。なぜ、みんなは帰ったのでしょうか。クジラのごちそうは、なんと「コイ」だったのです。



この本の中で、はつかネズミのおじさんがコイとクジラを間違えたところが大変おもしろかったです。

新刊案内

- 満月空に満月 (著/海老沢泰久)
- 漫画に見る1945年 (著/清水勲)
- 仏教とっておきの話366夏の巻 (著/ひろさちや)
- おばけじま (著/長新太)
- マーガレット・ミッチェル 十九通の手紙 (著/J・Bビーゴック)
- コーネリアス (著/レオ・レオニ)
- フランス刺しゅうと図案76案 (著/戸塚さく)

今月の勧めの一冊

一千日の嵐
著●澤地久枝

ドイツにまつわる人々の戦中・戦後の様々な生き方をルポルタージュした一冊です。生命の尊さと、無残な歴史を2度と繰り返してはならないと再認識するよう本です。

(中央公民館図書室)



MY TOWN COMMUNICATION
まちかど通信

「まちかど通信」は、読者の皆さんからの便りや作品などで作るページです。季節を感じさせる写真や思い出ばなし、私の宝物、地域のできごとなどをハガキやお電話でお寄せください。皆さんのご応募お待ちしております。

●応募先 水巻町役場企画課広報 広聴係まで (☎201-4321)

●世にも不思議なネギ
有迫義雄さん (みずほ団地)

自宅の庭で高さ70センチメートルくらいのしま模様の珍しいネギが採れました。3月ごろ市販されている種を植え、30センチメートルくらいに育ったところで、この模様気付きました。このネギは、根元のところが固いので残念ながら食べることはできません。そのため、今はこのネギがどんな花を咲かせるか、楽しみに待っています。
▶北九州地域農業普及センター（八幡西区）によると、このネギは非常に珍しいもので、何千株に一株くらいの割合で採れることがあるとのこと。またその原因についてははっきりわかっていないそうです。



▲南国の雲間気を漂わせるブーゲンビリア。/力丸隆夫さん (みずほ団地)



▶20年目の夏を迎えたサボテンに咲いた黄色の花。/曾根正道さん (みずほ団地)

●美しい花が咲きました

この広報紙は再生紙を使用しています。



「戦争を起すのは神か人間か。しかし、それ以上戦争を許さない努力ができるのも人間ではないでしょうか。」戦争が終わって五十年目の夏、半世紀を経て今だからこそ改めて、平和の尊さについて見直すことが大切なのではないかと感じています。(安元)

■今月は、「ごんちんには保健健です」百回目を記念して、健康づくりをテーマに座談会を開きました。集まっていただいた読者の皆さんに健康法を聞くこと、歩くことや食事などに気をつけているという答えが、多く返ってきました。私は、この夏の暑さに負けず、クーラーをかけたまま寝てしまふ風邪をひく始末。しかし、その風邪を簡単に治してくれたものがあります。それは、迫り来る原稿の締め切り。やっぱり、これが一番の健康法だと、気付かせてくれる出来事でした。これから、新しい暑さが続くと思いますが、この健康法さえあれば、夏だけでなく一年間を無事に過ごせそうな気がします。(寺田)

編集 後記